



真庭市議会だより

第34号

平成25年
11月1日発行

まにわ

旧遷喬尋常小学校

平成11年に国の重要文化財に指定された、明治40年建築の木造校舎。現在放送中のNHK連続テレビ小説「ごちそうさん」の第1話から第5話で教室や、らせん階段が登場しました。

美作国建国1300年記念事業の一環で、毎土曜日と祝日の前日の夜にはライトアップされ、11月の土・日・祝日には、教室で昔懐かしい給食を食べることができるイベント「なつかしの学校給食」が開催されます。問い合わせは、(財)真庭エスパス文化振興財団(電話 0867-42-7000)まで。

主な記事

9月定例会	P2～6
各常任委員会報告	P7～9
一般質問	P10～22
議会の動き	P23
真庭市議会地域報告会	P24

写真は、9月20日に開催された秋の交通安全県民運動
真庭市オープニング広報パレード出発式。

平成25年9月第6回真庭市議会

9月定例会

(会期 9月2日から9月24日まで)

平成25年度 9月補正予算額

7億 8,220万 2千円

の増額を可決しました

一般会計	6億 9,463万 8千円
特別会計	8,482万 7千円
公営企業会計	273万 7千円

補正後総予算額 503億8,272万2千円
対前年比 8億 3,200万 3千円 (1.7%) 増

【今回の主な内容】

- ・ 地域活性化・元気づくり事業、豪雨に伴う災害復旧事業及び情勢の変化に伴い早急な対応が必要なもの等についての補正予算を可決

◆認定17件（全て認定）

全て決算審査特別委員会に付託されました。

認定第1号 平成24年度真庭市一般会計決算の認定について

認定第2号 平成24年度真庭市国民健康保険特別会計決算の認定について

認定第3号 平成24年度真庭市後期高齢者医療特別会計決算の認定について

認定第4号 平成24年度真庭市介護保険特別会計決算の認定について

認定第5号 平成24年度真庭市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）決算の認定について

認定第6号 平成24年度真庭市簡易水道事業特別会計決算の認定について

認定第7号 平成24年度真庭市浄化槽事業特別会計決算の認定について

認定第8号 平成24年度真庭市農業集落排水事業特別会計決算の認定について

認定第9号 平成24年度真庭市公共下水道事業特別会計決算の認定について

認定第10号 平成24年度真庭市分譲宅地事業特別会計決算の認定について

認定第11号 平成24年度真庭市津黒高原観光事業特別会計決算の認定について

認定第12号 平成24年度真庭市クリエイト管谷事業特別会計決算の認定について

認定第13号 平成24年度真庭市温泉事業特別会計決算の認定について

認定第14号 平成24年度真庭市農業共済事業特別会計決算の認定について

認定第15号 平成24年度真庭市水道事業会計決算の認定について

認定第16号 平成24年度真庭市国民健康保険湯原温泉病院事業会計決算の認定について

認定第17号 平成24年度真庭広域市町村圏事務組合一般会計歳入歳出決算の認定について

◆報告2件

報告第7号 健全化判断比率及び資金不足比率について

報告第8号 専決処分の報告について

水道管仕切弁ボックスの破損による通行車両への損害賠償などの専決処分の報告です。

◆諮問1件

諮問第3号 人権擁護委員候補者の推薦について

岡田至弘氏、布野謙二氏、池田雅美氏及び西谷玲子氏の推薦に同意しました。

◆議案30件(全て原案可決)

※(一)内は付託委員会名

(総務)…総務常任委員会
(文教)…文教厚生常任委員会
(産建)…産業建設常任委員会
(予算)…予算審査特別委員会

議案第76号 真庭市蒜山山菜そば茶屋条例の一部改正について(継続分) (産建)

議案第77号 真庭市道の駅醍醐の里条例の一部改正について(継続分) (産建)

議案第107号 真庭市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について(総務)
地域おこし協力隊の報酬の額を定めるため条例の一部を改正するものです。

議案第108号 真庭市過疎地域自立促進市町村計画の変更について(総務)
農村集落排水施設整備事業における上皆部地区と下皆部地区の事業を統合して実施するため、計画の変更を行うものです。

議案第109号 真庭市辺地総合整備計画の変更について(総務)
阿口辺地の市道整備計画

における事業量及び事業費の増加について計画の変更を行うものです。

議案第110号 真庭市税条例の一部改正について(文教)

地方税法の一部を改正する法律等が公布されたことに伴い、条例の所要の改正を行うものです。

議案第111号 真庭市国民健康保険税条例の一部改正について(文教)

地方税法の一部を改正する法律等が公布されたこと

に伴い、条例の所要の改正を行うものです。

議案第112号 真庭市農業共済水稻無事戻金の交付について(産建)

議案第113号 真庭市農業共済果樹無事戻金の交付について(産建)

議案第114号 真庭市道路線の認定について(産建)
市道多田中南線を新たに市道認定するものです。

議案第115号 真庭市道路線の変更について(産建)

産業団地の宅盤を一体利用するため、市道産業団地13号管理道線の路線を変更するものです。

議案第116号 平成24年度真庭市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について(産建)

議案第117号 真庭市火災予防条例の一部改正について(総務)

消防法施行令の一部を改正する政令が公布されたことに伴い、住宅用防災報知設備の設置及び維持に関する基準を整備するものです。

議案第118号 真庭市蒜山堆肥センターの指定管理者の指定について(産建)

議案第119号 真庭市道の駅風の家等の指定管理者の指定について(産建)

議案第120号 真庭市蒜山ヒルズ及び真庭市蒜山八束公園(自然牧場公園)の指定管理者の指定について(産建)



議会の様子

〔賛成議員〕 ※議席番号順

小田康文・原 秀樹
福島一則・築澤敏夫
河部辰夫・中尾哲雄
妹尾 昇・森田一文
池田文治・初本 勝
福井莊助・妹尾智之
竹原茂三・柿本健治
古南源二・中元唯資
岩本壯八

〔賛成しなかった議員〕

氏平篤正・入澤廣成
緒形 尚・宮田精一
草地秀育・岡崎陽輔

審議では討論がありました。
内容は次のとおりです。

〔討論あり〕**〔反対〕 入澤廣成 議員**

人件費削減により、現状の雇用・賃金が不透明である。また、食材購入は矛盾している。そして蒜山ヒルズ条例を遵守していない提案は理解できない。

〔賛成〕 柿本健治 議員

委員会の中で議論をされた中で附帯決議も付されて、委員会の中で採決されて原案可決という委員会審議を十分尊重すべきだと思うし、団体の選定に当たっては、選定委員会の中で詳細についての審査が厳正に行われた、

そういう前提のもとに議案が提出されている。

〔反対〕 草地秀育 議員

地域の雇用がないとか、都市部への労働人口が流出するとか基幹産業である一次産業が衰退するなど、過疎化に危機感を持った旧自治体为主导して第3セクターを設立し、地域振興を図ってきた。指定管理制度が導入される費用対効果が最優先されるために地域おこしのためにつくられたこれらの団体が存亡の危機にひんしている。設立目的を再認識し、生きがい対策とか様々な観点から行政は、ともに考え、これらの業者を指導してより良い施設になるよう協働していくべきだと考える。もつと慎重な配慮が必要である。

〔賛成〕 竹原茂三 議員

あくまでも、雇用を確保していた、そして違反した場合にはペナルティを課していた、これを前提にして附帯決議もつけてある。

議案第121号 真庭市蒜山サイクリングターミナルの指定管理者の指定について

(産建)

議案第122号 真庭市蒜山快湯館の指定管理者の指定について

(産建)

〔賛成議員〕 ※議席番号順

小田康文・原 秀樹
福島一則・築澤敏夫
河部辰夫・中尾哲雄
妹尾 昇・森田一文
初本 勝・福井莊助
妹尾智之・竹原茂三
柿本健治・古南源二
中元唯資・岩本壯八

〔賛成しなかった議員〕

氏平篤正・入澤廣成
緒形 尚・池田文治
宮田精一・草地秀育
岡崎陽輔

審議では討論がありました。
内容は次のとおりです。

〔討論あり〕**〔反対〕 入澤廣成 議員**

快湯館条例を遵守していない。また、施設にない提案は理解できない。

議案第123号 真庭市八束ふるさとふれあい特産館の指定管理者の指定について

(産建)

議案第124号 真庭市蒜山高原ライディングパークの指定管理者の指定について

(文教)

議会を傍聴しませんか。

真庭市議会の本会議等を間近で傍聴してみませんか。議会だよりの紙面では、お伝えできない議員の生の活動が伝わってきます。

傍聴を希望される方は、議会開催中に真庭市役所4階にお越しく下さい。議場の入り口で、住所、氏名、年齢をご記入いただければ、簡単に傍

聴席へお入りいただけます。傍聴席は30席をご用意しております。

ただし、傍聴の際は静粛をお願いいたします。

また、本会議の様子は真庭いきいきテレビで生中継されています。議員の発言の際、まれに傍聴席が生中継に映り込む場合がありますが、ご了承をお願いいたします。



傍聴席 (30席)

議案第125号 真庭市スポーツ施設（蒜山高原スポーツ公園及び蒜山B&G海洋センター）の指定管理者の指定について

（賛成議員） ※議席番号順

氏平篤正・原 秀樹

福島一則・築澤敏夫

河部辰夫・中尾哲雄

妹尾 昇・森田一文

池田文治・初本 勝

宮田精一・福井莊助

妹尾智之・竹原茂三

柿本健治・古南源二

中元唯資・岩本壯八

（賛成しなかった議員）

小田康文・入澤廣成

緒形 尚・草地秀育

岡崎陽輔

審議では討論がありませんでした。内容は次のとおりです。

【討論あり】

【反対】入澤廣成 議員

提案者は、冬期は積雪や凍結もあることから適切な管理による利用者の安全確保を計画すると明記している。ヒルズ、快湯館、スポーツ公園と同様分である。かたや団体Aは、大型免許、大型特殊免許、作業免許取得者により作業機械で適宜に行うと明記。団体Aは、

除雪の元請けにより、除雪車3台。1台に2名乗車しなければなりません。蒜山にとつて除雪は死活問題である。団体Aはこの冬が最後の除雪になると聞いています。提案者の雇用が不透明である。

議案第126号 真庭市都市公園（落合総合公園）の指定管理者の指定について

（文教）

議案第127号 真庭市営山本町駐車場の指定管理者の指定について

（総務）

議案第128号 真庭市樹皮処理加工施設の指定管理者の指定について

（産建）

議案第129号 真庭市交流体験施設匠蔵の指定管理者の指定について

（産建）

真庭市の地酒で乾杯を推進する条例（抄）

（目的）

第1条 この条例は、豊かな自然環境に恵まれた真庭市の水などを原材料として、優れた醸造発酵技術等により造られる日本酒やワインなどの地酒（以下「地酒」という。）は、真庭市の誇る地域産品であることに鑑み、地酒による乾杯の習慣を広めることにより、酒造業その他関連産業の発展及び郷土愛の醸成を図り、もって地酒の普及を通じた日本文化への理解の促進に寄与することを目的とする。

（市の役割）

第2条 市は、地酒による乾杯とその普及の促進に積極的に取り組むよう努めるものとする。

（事業者の役割）

第3条 地酒の生産、販売、提供等に関する事業を行う者は、地酒による乾杯とその普及を促進するために主体的に取り組むとともに、市及び他の事業者と相互に協力するよう努めるものとする。

（市民の協力）

第4条 市民は、市、事業者等が行う地酒の普及の促進に関する取組に協力するよう努めるものとする。

議案第130号 真庭市湯原温泉駐車場の指定管理者の指定について

（産建）

議案第131号 平成25年度真庭市一般会計補正予算（第3号）について

（予算）

議案第132号 平成25年度真庭市介護保険特別会計補正予算（第3号）について

（予算）

議案第133号 平成25年度真庭市簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）について

（予算）

議案第134号 平成25年度真庭市農業共済事業特別会計補正予算（第3号）について

（予算）

◆議員発議

発議第4号 地方税財源の充実確保を求める意見書の提出について

原案可決

発議第5号 森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関

する地方の財源確保のための意見書の提出について

原案可決

発議第6号 少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の提出について

原案可決

発議第7号 真庭市の地酒で乾杯を推進する条例の制定について

原案可決

◆請願・陳情

※（ ）内は付託委員会名

陳情第5号 陳情書「西町四組・五組への上水道配水池建設のお願い」について

（産建）

趣旨採択

陳情第6号 公共事業予算についての陳情書

（総務）

趣旨採択

陳情第9号 入札制度についての陳情書

（総務）

不採択

陳情第11号 一般競争入札
(総合評価方式) についての
陳情書

(総務)
採択

陳情第12号 災害復旧工事
についての陳情書

(総務)
不採択

陳情第13号 日本酒で乾杯
条例制定についての要望書

(産建)
趣旨採択

陳情第15号 市道「木山寺
線」改良要望書

(産建)
不採択

陳情第16号 「森林吸収源
対策及び地球温暖化対策に
関する地方の財源確保のため
の意見書採択」に関する陳
情書

(総務)
採択

陳情第17号 少人数学級
の推進などの定数改善と義
務教育費国庫負担制度2分
の1還元をはかるための、
2014年度政府予算に係
る意見書採択の陳情書

(文教)
採択

継続審査9件

※()内は付託委員会名

請願第3号 消費税の複数
税率導入と新聞への軽減税
率適用についての請願書

(総務)

紹介議員は、宮田精一議
員。

陳情第3号 社会福祉法人
真庭市社会福祉協議会本所・
落合支所・南事業所の移転に
関する補助金要望書

(文教)

陳情第4号 社会福祉法人
真庭市社会福祉協議会負担
金・補助金に関する要望書

(文教)

陳情第7号 受注機会確保
についての陳情書

(総務)

陳情第8号 入札参加資格
についての陳情書

(総務)

陳情第10号 一般競争入札
についての陳情書

(総務)

陳情第14号 国・県に対し
て「私学助成の拡充を求める
意見書」の提出を要請する陳
情書

(文教)

陳情第18号 TPP交渉に
関する陳情書

(産建)

陳情第19号 TPP交渉に
関する陳情書

(産建)

決算審査 特別委員会

委員長 福井莊助 議員
副委員長 妹尾智之 議員

平成24年度真庭市一般会
計ほか、特別会計、事業会
計、組合会計17件の決算審査
のため、9月12日、13日に決
算審査特別委員会を開催し
ました。

1日目は、総務部、総合政
策局、市長直轄組織、会計
課、監査事務局、消防本部、
市民環境部、健康福祉部、議
会事務局、湯原温泉病院、蒜
山振興局及び各支局関係の
決算について、また、2日目
は、教育委員会、産業観光
部、建設部について、関係
部・課長などから詳細説明を
受け、その後、多くの質疑が
なされ、それぞれ説明を求め
て、慎重審査しました。

決算審査の概要について

は、平成24年度一般会計及
び特別会計を合わせた全
体の決算額は、歳入総額は
475億1,110万円、歳出
総額は454億6,673万円
であり、歳入歳出差引額は
20億4,437万円でした。
慎重審査の結果、全て認定
いたしました。

予算審査 特別委員会

委員長 竹原茂三 議員
副委員長 岩本壯八 議員

平成25年度真庭市一般会
計補正予算(第3号)ほか、
特別会計等3件の補正予算
審査のため、9月17日に予算
審査特別委員会を開催しま
した。

関係部局などから補足の
説明を受け、多くの質疑がな
され、それぞれ説明を求めて
慎重審査しました。

補正予算の概要として
は、地域活性化・元気づく
り事業、豪雨に伴う災害
復旧事業及び情勢の変化
に伴い早急な対応が必要な
もの等について提案された
予算で、4会計の補正額は

7億8,220万2千円の増
額補正であり、真庭市の補
正後の予算総額は、503億8,
272万2千円となってい
ます。

会計別では、一般会計が
6億9,463万8千円、特
別会計が8,482万7千円、
公営企業会計が273万7千円
のそれぞれ増額となってい
ます。

慎重審査した結果全て原
案可決いたしました。



▶7月15日の大雨による災害川上地域

総務常任委員会

委員会開催内容

総務委員会では8月1日・2日に京都府が取り組まれている「命の里事業」の事業実施3団体の視察調査を実施。8月9日には、市が今年度から策定をすすめている「公共施設白書」に関して湯原地区の7施設の視察を行いました。また、8月19日に所管部署の調査研究を行いました。

《総合政策局》

■命の里事業視察調査について

この事業は、過疎化・高齢化が進行し、地域の担い手の不足、人や集落の繋がりがやぶが弱まり地域産業の衰退、鳥獣被害の増加、農地の荒廃等の問題が深刻になっている地域において、複数集落による「地域連携組織」をつくり、その組織が行う地域活

動を京都府の行政職員が「里の仕事人」としてまた、民間人材を「里の仕掛人」として派遣し人的支援することによって地域課題を解決していく施策を平成21年度から実施されていきました。

人と地域を変えていく仕事をするのが公務員の仕事である。地域の活性化は地域の宝を探し、いろいろな人と結びつけて、高齢者を高齢者として終わらせず、リーダーを育てて地域を活性化させていくことがプロとしての行政マンの仕事ではないか等の意見が出され、市の施策へ反映すべきとして委員会へ意見集約を行いました。執行部からは、定住・交流計画を今年作成するが、その主要な位置づけが住みたいまちをつくることにあるので、制度設計をやっていくことでした。



8月2日京丹後市弥栄町「溪里野間」

■公共施設白書作成について

白書作成に係る調査のため湯原地区のオオサンショウウオ保護センター、湯原温泉独楽の博物館などの7施設の現地視察を行いました。平成21年に公共施設見直し指針を策定し、平成22年に公共施設管理運営方針を策定した。市内で適正な施設の数

育勝輔尚夫之資文
秀陽辰智唯一
地本崎形部尾元田
草初岡緒河妹中森
委員長 委員長 委員長
委員 委員 委員 委員

や規模、施設が持つ機能がどういうエリアをカバーすべきかという適正配置の方針を来年度策定したい。その議論の土台となる「公共施設白書」を今年度作成するのととした。

施設白書の目的は、人と施設を減らすという観点もある。その矛盾を当委員会として考えることになる。執行部とは違う観点でチェックして必要なものは絶対残す考え方を持つ必要があるなどの意見が出されました。

《総務部》

■財政健全化法に関する数値について

実質公債費比率は、平成24年度が128パーセントで、昨年度が135パーセント0.7ポイント向上している。将来負担比率は、平成24年度は60.1パー

セントで昨年度に比べ、9.6ポイント向上している。合併算定替えて交付税を合併後約40億円多くもらっていたが、今まではこの40億を慎重に将来のために基金に積み、かつ借金を減らしてきた。ここ数年は健全化が堅持されると考えている。交付税が一本算定になればかなり厳しくなるとの説明がありました。

■職員の資質向上のための研修参加制度について

今までの職員研修は個々に、その時期に応じた能力を身につける内容が主であった。今年度からの新しい制度は、所属課の課題や今後の政策を考えるなど市民サービスの向上に繋がる事案について先進地を視察などを通して職員力向上のための研修を促す制度で、担当している業務の専門性の向上、担当業務を超えた視野の拡大に寄与する効果的で、しかも職員が自発的に学ぶ研修への参加を促進し、職員の能力向上・意識改革を図るものです。実施後は研修の成果を発表する報告会を行い、成果を職員で共有することになっているとのことであります。

文教厚生常任委員会

委員会開催内容

文教厚生常任委員会では、8月16日に委員会を開催し、各部署の出席を求め調査研究を行いました。

《市民環境部》

■平成26年度の住民税申告相談体制について

現在の職員の体制では対応しきれない状況であるため、申告会場の数、日程等を見直すこととなり、今まで6班編成で15会場で行っていたものを26年は4班編成で7会場で行いたい。ご理解とご協力を頂き実施したいという説明がありました。

■火葬場建設及び墓地公園建設の進捗状況について

北部火葬場については、造成工事は8月末で工事完了し、実施設計業務については8月9日の入札で猪子建築事務所が落札し、委託期間は

2月末までの予定である。真庭火葬場については、12月末までに都市計画法の決定を受け、用地造成にかかる測量設計は9月上旬までに委託する予定である。鳩ヶ平墓地公園については、12月末までに都市計画法の決定を受ける予定であるとの報告を受けました。

《健康福祉部》

■真庭市障がい者就労施設等からの物品等の調達方針について

市内の障がい者就労施設等が供給する物品・役務の需要の拡大を図り、障がい者の自立の促進に資することを目的とする。24年度の調達実績は、2,325千円で25年度はこれを上回ることを目標としていきたい。本市が調達しやすいような物品等の提供体制の確保も促していきたいとのことでした。



市役所1階に展示されている障がい者就労施設で作られた製品

■真庭市認定こども園建設検討委員会設置規程の制定について

認定こども園の新築、建設場所、設備及び運営等に関すること、その他認定こども園の建設に係る必要な事項を検討するために設置するも

夫正八治昇雄樹一
敏篤壯健 哲秀精
澤平本本尾田
築氏岩柿妹中原宮
委員長 員員員員
委員 委員 委員 委員
委員長 員員員員
委員 委員 委員 委員

ので、委員会の組織は、委員長が副市長、副委員長は健康福祉部長、委員は部局長、教育次長、財政課長。8月1日施行とのことです。

■真庭市内中学2、3年生に対する尿中ピロリ抗体測定と除菌について

平成25年8月1日から事業開始している。市内の中学2年、3年生に対して尿でヘリコバクター・ピロリの検査をし、約5%と言われている陽性の場合に、確認検査を経て診断が確定した希望者に除菌を行うもの。本人の胃がんのリスクをゼロに近づけるとともに、親世代になった時に子どもへの感染も防げると考えられるということでした。

《教育委員会》

■平成25年度岡山県学力・学

習状況調査結果について

平成25年では、すべての教科において県平均を下回るという状況になっている。生活習慣上の課題として、テレビ・ビデオ・DVDの視聴時間が非常に多く、平日の家庭学習量が県と比べて非常に少ない。学校では、授業の終わりの学習のまとめや振り返りについての課題が見られる。家庭、地域とも連携をして学力の向上に取り組みたいとのことでした。

■平成24年度不登校状況等について

ここ数年間、学校での集団づくりや授業の充実などの取組みの中で、不登校の出現率はかなり少なくなっている。もう一方で、セーフティーネットとして真庭市教育支援センターを中心とした相談体制の強化という効果もある。小学校の場合、30日以上休んだ子どものうち45%が不登校。中学校では70%くらい。中学校では、年間30日以上ケガや病気で休んだ長期欠席者が増えており、不登校に転化しないように今後も取組みを強めていきたいということでした。

産業建設常任委員会

委員会開催内容

産業建設常任委員会では、8月5日と19日に委員会を開催し、各部署の出席を求め調査研究を行いました。



8月5日国道482号被災箇所(川上地域)現地調査

《商工観光課》

■真庭市場の移転について

真庭市場の移転場所が、JR高槻駅と阪急高槻駅の間にあり、上東ビルに決まったと報告がありました。農家の

方には今まで以上の継続した出荷の願いや、冬場の農産品の作り方の指導も行うとのことでした。

売上は、今の計画では8,500万円程度と試算しており、市からの補助金については、3,800万円を出すということでした。

■企業誘致関連補助制度について

真庭市企業立地雇用促進奨励金と真庭産業団地分譲促進補助金の交付対象企業の要件である、新規常用雇用の者の人数について、現状の大企業15人以上、中小企業5人以上を平成27年度までに限り大企業・中小企業とも5人以上と、要件を緩和したいと考えている旨報告がありました。

■真庭産業団地の状況について

高速道路北側は、全13区画中残りが6区画。そのうち

北1号地は真庭バイオマス発電株式会社の建設予定地、北4号地は、現在、企業との商談中。北12号地と北13号地については、真庭木材事業協同組合が真庭バイオマス発電株式会社への燃料供給のためのチップ製造装置などの設備を予定しているため、実質残区画は北10号地と北11号地の2区画のみとのことでした。

高速道路の南側は、全18区画中、残りが14区画。そのうち南4号地と南16号地については、現在、企業2社が県に土地分譲の関係書類を提出しているとのことでした。

■美作国建1300年記念事業について

10市町村で取り組んでいる全体の事業では、美作市在住の著名な作家、あさのあつこさんが作られた、美作国建1300年の歴史や文化を盛り込んだミステリー小

則成治文二三修助
一廣文康源茂 荘
島澤田田南原尾井
福入池小古竹長福
委員長 委員長 委員長
委員 委員 委員 委員
委員長 委員 委員 委員

説をもとに各市町村を巡ってもらって謎を解いていくというイベントを実施することでした。

市の独自事業としては、気球体験を今後も実施し、旧遷喬小学校のライトアップも毎週土曜日に実施していくとのことでした。

また、全体の閉幕式を真庭市で実施することが決まり、来年3月21日に勝山文化センターで予定しているとの報告がありました。

《バイオマス政策課》

■バイオマス発電事業の状況について

全般的に順調に進んでいるとの報告でした。

発電会社が実際に現場の工事に入るのは、県議会においていろいろと承認関係を経て、正月明けくらいになる

という話で、27年4月からの本格稼働という最終の日程から逆算して、遅れはないとのことでした。

燃料の安定的な供給体制については、安定供給協議会で、林野庁の補助事業を活用して、検討やシステム開発をする中で、今年度中には具体的なところまで決まってくるであろうとのことでした。また、証明システムの基盤になる森林GISについても国の補助事業を活用して実施するということでした。

《湯原支局》

■旭川荘真庭療育センターの温泉使用について

7月26日に真庭市温泉協議会を開催し、旭川荘真庭療育センターの内湯配湯申込金については、通常300万円を、半額の150万円とする旨承認されたとのことでした。半額の例は、湯原温泉病院、湯原保健福祉センターと同様で、福祉施設であり、市が誘致した施設ということで了承されたとのことでした。配湯の使用料金については、温泉条例の規定どおり使用料を徴収するという報告でした。



真庭市議会 9月定例会

一般

質

問

一般質問の記事は質問した議員本人の原稿に基づいています

柿本健治 議員

福祉施策の充実に
ついて

問

養護老人ホーム「ささぶき苑」整備方針は、議員提案により予算が減額修正され、整備方針が不透明となり井手前市長は新体制に委ねるとしてこれ、太田市長は、6月定例会で「過去の経緯を踏まえ議会並びに市民関係機関と協議を重ね中で検討したい」としているが整備方針を問う。

介護サービスの充実が団塊の世代の高齢者の仲間入りを考えると施設介護で831床が整備されているが、500名以上の待機者があり増床が必要と考える。居宅サービスも、マンパワーの確保は十分か。不採算地域へのサービスを担う社協のマンパワー確保と財政基盤強化が重要と考えるが見解を問う。

民生・児童委員は合併時の193名が、前回の改選期150名に見直され、今回の改選に当

妹尾智之 議員

スタンドパイプ消火
火資機材について

問

市内自主防災組織に消火栓からの直接放水できるス



消防車両に装備されているスタンドパイプ

答

太田市長

地域の立地条件などからやりたいと考える組織があれば、補助金を活用して整備していただければいいと思う。

問

リース方式による
公共施設へのLED
照明の導入に
ついて

答

太田市長

電力供給への懸念が強まる中、低炭素社会へ向けた積極的な取り組みが必要であり、真庭市の実情に応じた形で公共施設の照明器具や街路灯についてリース方式によるLED照明の導入を検討してはいいかがか、市長のご所見を伺う。

真庭市において公共施設の照明に多く蛍光灯が使われており、また街路灯にも蛍光灯が多く使われております。



市庁舎サインのLED照明

旧型の蛍光灯40ワットをLED照明にかえると年間58キロワット、料金にすると約1,630円節電が見込まれ、二酸化炭素の排出量も42キログラム程度が削減される。節電分を考えLED照明を先行導入すれば環境にも、将来的に財政面でもいいと思っている。LED導入の仕方を検討し、真庭市がバイオマス先進都市という観点からも自然環境に優しいまちづくりを進めていく。



養護老人ホームささぶき苑

たり1名減が求められているが、県に対し弾力的な定数を求めるべきと考えるが見解を問う。

答
太田市長

早急な整備が必要とは認識している。時代にあった管理運営形態を検討しながら建設場所についても過去の経過もあり、議会の意見も聞きこれまでの事を教訓に行政が責任を持って提案する。介護施設については、第5期

計画で55床の増床を予定しており、第6期計画については運営協議会等の意見を聞きながら慎重に対応。

民生委員は非常に大事な役割であり、現状維持を県に強く働きかける。

指定管理者制度について

問

平成15年創設された制度で、運用に当たり多くの課題が発生し、総務省から自治法に基づく技術的助言が発せられたが、指定管理者選定に於いて助言を遵守した作業が行われていると考えるが状況を問う。

答

太田市長

助言を反映したガイドラインを作成し、設置目的に合致しているかなど複数項目から評価を行っている。



親子ふれあいフェスタ ふるさと納税制度を活用して開催されました

竹原茂三 議員

ありとあらゆる手段を使いふるさと納税制度を活発にする

問

平成20年度地方税制改正においてふるさと納税制度が設立された。設立された時点においては、全国的に各市町村がアイデアを出し、取り組んでいた。5年が

答

太田市長

真庭市において納税制度が現状では非常に取り組みが不十分だとはつきり申し上げる。寄付金の額は、20年度121万5千円、21年度120万5千円、22年度39万23千円、23年度35万5千円、24年度54万円、25年度は8月末現在で28万円である。今後どうしていくかであるが、交流定住の重要な取り組みの一つとして抜本的な見直しをかけて強力に推進していく。具体



経過し真庭市においては、どのような現状なのか尋ねたい。ちなみに、倉吉市では5年間で2千413万6千866円である。また今後ふるさと納税についてどのように考え、推進していくつもりなのか尋ねる。

的に言うところPR方法、納税方法、記念品の問題、そして寄付をいただいた方へ後々もありがとうございますというご含め、フォロアアップしていく。

使途等も総合的に見直す必要がある。当面は真庭市出身者や観光サポーターの皆さんへのPRを強化していく。「愛Love真庭PR大作戦」の一環としてハガキ事業を市民の方々にもしていただいたが、第2弾としてふるさと納税も入れて、市民の皆様のご協力をいただき一人でも多くのふるさと納税を増やしていきたい。情報発信力を強化していくことも含めた取り組みの中でふるさと納税の充実を図ってきたい。そういう中で真庭そのものの活性化に努めていきたい。目標もいると思うし、倉吉がほぼ同じ人口でして、少なくとも倉吉よりは上回るという事を決意として申し上げておく。そのために、ありとあらゆる手段を使ってふるさと納税制度を活発にしたい。

初本 勝 議員

周辺地域の活性化事業について伺う

問

高齢化の進んだ周辺地域の活性化と安全、安心のまちづくり、村づくりは基本的に共助が必要と思うが、これまで何かといえば補助金的手法で対応してきたが、十分活性化の効果がでていないと6月議会で答弁をもらった。補助金ではなく、人的支援をして、外部人口の流入を図っている地域を紹介いただき、高齢化率56%、48%、30%の地区を視察し、本市の中で地域を挙げて頑張る場所にどのような支援ができるのか伺う。

答

太田市長

地域を挙げて頑張るところへどのような協力支援ができるかということ、真正面から突き付けられた課題であると認識しており、米について米をつくっているという大規模産地化、法

人化が基本だろうと思っている。ところが、それができるところではなく、むしろ

できないところが多いと、地域全体が非常に厳しいわけ、生活基盤を含めた支



京都府宮津市日ヶ谷地区の花蓮の里

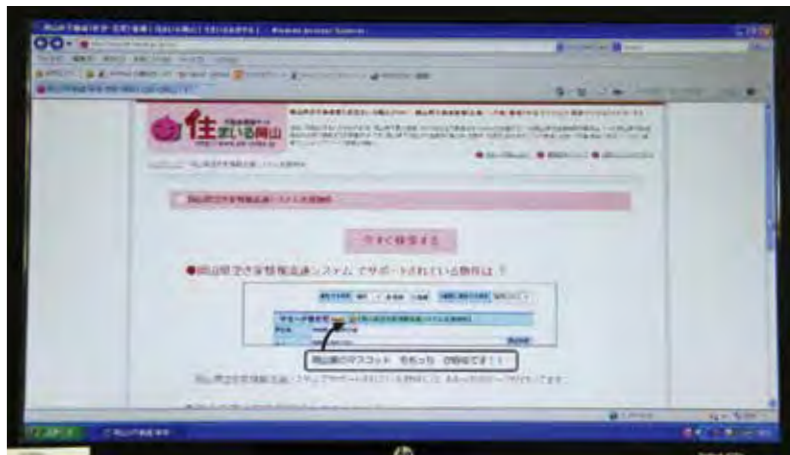
援が基本だろうと思っっている。中間的なところ、大規模にそこまでできないけど、小集落の中山間ではないところでは特徴ある村づくりで、民宿を何軒かでやるんだと、特徴ある地域づくりをして、大別すれば三つくらいかなと。方針を明確にして、かつて行ってきた。岡山県もそういう県として明確な農業、農山村地域政策があるのではないかと知事にも申し上げた。京都府の事例を整理すると、一つは地域が連携し協同し地域おこしに取り組むこと。2点目は連携した地域へ府の職員や地域おこし協力隊による直接的支援をし、職員は何か集落担当で顔なじみになっていく。3点目は、地域の個性に合わせて産業おこしの観点から地域振興を推進し、小さなもう70歳位上の方しかいないところでトチ餅をつくって売る。三つの観点からそこに長らく住み続けられると市の命も維持できる意味で、命の里事業と銘打って活性化事業を推進した。

岩本 壯八 議員

空き家対策について

問

空き家は私有財産であり、所有者の適正管理が前提のため、行政側の対策は取りづらいが、倒壊寸前の危険家屋や放火対象、野良猫の住処、青少年の溜まり場、樹木が生い茂るなど、地域の生活環境や防犯・景観に多大の悪影響を及ぼしている。市内でも人口減少にも関わらず、世帯数は増加傾向で、高齢者単独や独居世帯が増え空き家も増加すると考えられる。早急な対策が必要ではないか。①空き家状況を把握しているか。②現在と今後の対策は③市条例を制定して助言指導更に勧告、命令ができるようすべき④NPO法人等を活用



岡山県空き家情報流通システムのホームページ

答

太田市長

用して空き家の賃貸やサテライトオフィス誘致を進めるべき。
①真庭市の空き家総数が3千110戸で、住宅総数の16.1%で全国平均より3ポイント多い②昨年からの空き家、廃屋対策の政策勉強会をして調査研究中③条例制定の先進自治体の実績や課題を調査し、十分検討した

問

健康マイレージへの取り組みについて

市民が健診を受けたり運動教室や健康関連のイベントなどに参加したときなどにポイントを付与する健康づくりマイレージポイントシステムで、検診受診率を上げ、健康づくりに励むことで医療費や介護費の抑制につなげるほか、地域コミュニティや地域経済活性化など、まちづくりや人づくりに期待できる政策である。市長の所見を。

答

太田市長

良い提案、いいアイデアだが、先行的に取り組んでいる市の状況も調査した。今のところ受診者の増加の効果は、あるかも知れないが確認できてない。積極的ではないが、やる以上は効果を出したい。

贈らない！求めない！ 受け取らない！

寄附行為等の禁止について

公職選挙法により、政治家が選挙区内で寄附行為等を行うことは禁止されています。このため、市議会議員はお中元・お歳暮などを贈ったり、地域の行事に差し入れや祝儀を出すことはできません。選挙区内に暑中見舞い状や年賀状を出すことも禁止されています。また、市民から市議会議員に対して、寄附を出すよう勧めたり、要求したりすることも禁止されています。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

福島 一則 議員

高速道路の4車線化について

問

岡山自動車道の4車線化の重要性など訴えているが、市長就任以来どの様に推進活動をして来たのか、今後どのような要望活動をしていくつもりなのか、具体的に伺いたい。

答 太田市長

4車線化というのは真庭の活性化にとって重要であり、商工会議所等県レベルの五つの民間経済団体にも促進協議会に加盟いただき、日本海から四国までの地域連携を図っていくべきだと言うことで、高知県知事にも呼びかけを行い、大規模災害に備え中四国の相互協力体制の強化の取り組みを進める上で岡山道の2車線区間の改修が急務であり、岡山県知事とも協議して、県レベルの要望活動を進めていくように強く呼び

かけた。結果として国交大臣、関係機関に要望ができた。今後も岡山県と連携を

強化し、鳥取、島根、四国地域と連携して国等の関係機関に力強く要望していく。



岡山自動車道（吉備中央町）

真庭市とベトナムの文化交流について

問

過日市長は日本代表としてベトナムに自治について講演に行かれたが、これを機に真庭市とベトナムとの文化交流、小中学校単位、又は農村地域、自治会、集落営農など真庭市内の多くの組織と連携を取りながら交流事業はできないものか。

答 太田市長

自治制度をどうするかということでは日本を紹介してきた。ベトナムは今発展が非常に目覚ましい、そして国民も勤勉で手先が器用であり非常に親日的であり、私も友好提携みたいな、民間地域レベルで交流をしていく、ホームステイとか含めて、本当に心の通い会うような交流をして、農業面においてもプラスになるように、地域レベルの交流をされると言うことであれば真庭市行政としても支援をしていくということを考えている。

原 秀樹 議員

真庭市財政と各種特別会計の関連について

問

市の24年度決算は黒字で資金不足は無いとの事。その反面各種特別会計では、単年度赤字の為積立金や基金の取り崩しにて運営している現状がある。その解消の為に税率や保険料、利用料のupを必然とする会計もある。市の一般会計も特別会計も財源(財布)は一つであり、単に税率や保険料、利用料のupで市民に負担を課す前に、市全体で【行財政改革】【定員適正化計画】【各種補助金の見直し】【公共施設適正化計画】【総合計画】等策定実施の中で議論・審議を充分行い無駄排除で内部改革を最優先に先行すると共に一般会計からの抛出等も念頭に、市民に負担を課す事は、最終手段とすべきである。国も増税発想の施策であり、市民に市の

現状を説明し理解を得る必要がある。市長の見解をお伺いする。①市財政と特別会計の相関②各種税・使用料金の見解及び将来計画③国保税・介護保険料・水道料金・下水、集落排水利用料金の推移と今後の対応④総合計画・行財政改革と税率、利用料の見解は。

答 太田市長

①市の財布は一つである。繰出し金には基準内(交付税算定)と基準外(市単独)がある。基準外が多くなる。②市財政の自主財源は22%の為、税収増額の為企業誘致に懸命に取り組んでいる。③国保税は非常に厳しく26年度基金は底をつく。医療費抑制の為、特定検診の受



総務部財政課

森田一文 議員

魅力ある地域づくり事業の見直しについて

問

政治とは、住民の幸せをつくること。幸せとは、生活の中でより多くの笑顔がこぼれることだと思う。今まで、魅力ある地域づくり事業で地域を支えてきた真庭である。今年はその見直しの年。併せて、太田市長の誕生と重なった。市長は補助金を出すより職員が地域に向いて活性化の手伝いをする方が効果的だと言われている。こういう方向に進むとしても問題もあると思う。そこで、質問する。①今の事業との繋ぎをどうされるのか。②地域に入る人材教育をどうされるのか。③全域万遍にやっていくのは難しいと思うが。④高齢化社会でなくては出来ない集落づくりをしたいと思うがその指針を示してほしい。

答 太田市長

①行政改革の組織の中で小委員会、今の事業を踏まえて検討する。②新設の「職員力向上事業」で職員のやる気を養う。さらに国の地域おこし協力隊も導入していく。③住民が自ら危機感を持ち、やる気のあるところからやってゆく。④高齢化を悲観せず、意欲のある地域をモデルにして活性化を図る。

問

オープンスペース方式について

何をやってもらってぱり人づくり。今、岡山県の最大の課題は、児童・生徒の健全育成、特に学力の向上にある。真庭も全く同じである。オープンスペースを普通教室にし



遷喬小学校の授業の様子

答 沼教育長

現段階でアンケート調査を行う考えはない。てほしいという声が大きく聞こえている。理由は隣室の声、音が聞こえて集中できない！そこで、教師を含め、児童、保護者にアンケート調査をしていただきたい。むしろやるべきだと思うが、教育長の考えを伺う。

妹尾 昇 議員

自主防災組織と防災体制について

問

9月1日は防災の日である。国は南海トラフの巨大地震を想定した総合防災訓練を実施し、安部首相は会見で「命を守る行動を直ちにとつてほしい」と国民へ呼びかけた。市内でも7月、8月にかけて大雨による災害が発生している。災害を未然に防ぐことは難しいが、日頃から災害に対して自分の生命は自分で守る、家族を守る、地域のことは地域で守るという意識、自助、共助の意識、自主防災組織の充実が必要である。現在の組織率を伺いたい。

答 太田市長

市民の生命、財産を守るといことが私にとつても使命である。市民の方も自助の精神で、地域の組織は共助の精神でお願いしたい。市は災害対策基本法を

答 沼教育長

認識して、自主防災組織の組織化についてお願いしている。現在29組織、859自治会の内210自治会で設立されて、組織率24.5%でありますが、27年度末までに50%目標は堅持し、更に超過達成に向けて努力する。

各学校で 交通安全教室や学級指導で自転車の安全な乗り方や点検、整備等を取り上げ、交通安全指導の徹底を図っている。保護者に対してはPTA総会や地区懇

談会で交通安全に対する啓発に努めている。自転車事故の補償責任の所在については当事者の保護者にあります。そのため、年度当初に任意ではあるが、自転車保険への加入を勧めている。

中学生の自転車通学・交通安全教育について

問

市内中学生の通学手段は、自転車通学が約78%である。自転車通学を見ると、非常に危険を感じる。朝の通学時間帯は、徒歩通学の小学生と中学生の自転車、通勤の自動車が狭い道路で交錯、往来している。自転車は後方等をよく確認せず、小学生の歩行者を追い越している。危険を感じるのが指導を伺いたい。



落合中学校で開催された自転車交通安全教室

岡崎陽輔 議員

雇用ビジョンの策定と若者就労支援窓口の設置を

問

地域の雇用環境は厳しい。地域内労働人口も大幅に減少している。自治体が地域の雇用の現状の適確な把握をして総合的雇用政策を持つべきだ。そのため雇用創出目標と計画を示すビジョンを策定すべきだ。また、持続可能な自治体経営のため若者の就労支援窓口を設置すべきである。

答 太田市長

真庭市だけでは難しいところもあるが、総合計画で、雇用創出を含めた産業振興計画を策定していきたい。若者の安定的な就労の確保は非常に重要な課題だ。行政機関、事業者、商工会、教育機関も参画した支援窓口ができればと思う。関係者と検討したい。研究を進める。



雇用創造協議会が開催した「接遇おもてなしセミナー」

帯への影響は14世帯で平均月額約4千400円の2.3%の減額である。非課税限度額については26年度以降の税制改正を踏まえて対応する。就学援助制度は国の動向を待っている。

いじめ防止推進法の発動と運用は慎重な対応を

生活保護基準引き下げの影響と対応について

問

8月から生活保護の扶助費の基準額が引き下げられた。国民の最低保障の根幹を揺るがすものだ。実態を明らかにされたい。また、影響を受ける制度への具体的な対応はどうするか。

答 太田市長

受給世帯250世帯中191世帯が減額対象である。率は76%となる。子育て世

問

9月28日施行のいじめ防止対策推進法は、評価すべき点もあるが、子どもへの厳罰取締り、道徳中心の指導義務など問題点もある。厳罰条項については慎重な運用を求めたい。いじめ問題の解決は、教員の確保や専門家の配置など教育環境の整備充実をすべきだ。

答 沼教育長

ご指摘頂きました厳罰については慎重に取り扱う。教育環境の整備について充分対応していきたい。

小田 康文 議員

運動部活動に外部指導者の協力を得ることは、積極的に推進すべき課題である

問

特に夏休み中の市内の中学校で運動部活動に励む生徒の安全管理には、細心の注意が求められている。市内の中学校では、部活動中の生徒が救急車で救急搬送される事態が発生している。聞いている。中学校部活動中における怪我や事故の発生の実態はどうか。

また、部活動の設置、運営、安全管理を確実に実施する責任は誰が負っているのか。

市内中学校の運動部活動において、顧問の先生の実況や生徒のニーズ等によって、該当するスポーツ種目の技術的指導は、地域などでのすぐれた指導力を有する外部指導者が中心となつて行うことが効果的である

答

沼教育長

と、本年5月27日に文部科学省から公表された「運動部活動のあり方に関する調査研究報告書」に記載されている。中学校運動部活動における外部指導者の任用について、市教委はどのような考え方を持ち合わせているか。

部活動中の怪我や事故の実態についてであるが、救急搬送の事案は平成25年度に3件報告を受けている。部活動は学校教育活動の一環として実施されている。その設置や運営、安全な教育環境実現の努力も学校が中心となつて行う。また、学校は生徒の安全を期するため、万全の措置をとる義務を負っている。第一義的

には学校長、学校に責任があり、万全の態勢をとっていく。不備の点については、要望があれば施設等を含めて教育委員会も対応していかなければならないと考えている。

運動部活動に外部指導者の協力をいただくことは、運動部活動の活性化の点からも、地域全体で子どもを育てていくという機運を醸成する上からも積極的推進すべき課題であると考えている。



イメージ

宮田 精一 議員

地域おこし協力隊の取り組みについて

問

真庭市における、中山間地域の過疎、高齢化の急速な進行は大きな課題であり、喫緊の対策が必要である。総務省が創設した地域おこし協力隊制度により、過疎、高齢化の進む地域を担う人材を確保し活性化を図る必要がある。今年度より、1名を配置する計画であるが、今後の取り組みについて伺う。又、全国の事例も調査して、自治体の強力なサポート体制で成功に導くよう強く望む。

答 太田市長

今年度から、真庭市も受け入れていきたい、やる以上成功に導き、今後、人数も増やしていきたい。当面の考え方として、数か月は、所管の総合政策局に勤務しながら、地域と一緒になっ

て課題を探り、それをマッチングしながら活動を決めていきたい。
本年度は1名であるが、来年度からは4名とした。地域との信頼関係を、ど

う早く創つてゆくかが、鍵であり、後発団体であるがゆえに、過去の経験や教訓を生かしながら丁寧な手法で取り組んでいきたい。



地域おこし協力隊のパフレットと募集チラシ（担当：総合政策課）

地酒で乾杯

平成25年9月24日

真庭市の地酒で乾杯を推進する条例

施行



岡山県初
皆さんのご協力をお願いします

皆さんの声
お待ちしております！

議会広報編集委員会では、市民の皆さんの声をいただき、今後の議会広報紙づくりの参考にしたいと考えています。

広報紙の内容について、また議会や行政に関するご意見ご要望等ありましたら、住所氏名を明記し議会事務局までお寄せください。

宛 先

真庭市議会事務局

〒719-3292 岡山県真庭市久世2927-2

☎(0867) 42-1272(直通)

FAX(0867) 42-1420

Eメール gikai@city.maniwa.lg.jp



緒形 尚 議員

鳥獣被害対策について（特にサルについて）

問

イノシシ・ニホンジカ・ニホンザル等の生息分布域の拡大、地域における過疎化や高齢化の進展により耕作放棄地の増加等に伴い、鳥獣による農林水産業に及ぼす被害は深刻化している。加えて、農業者の営農意欲低下等を通じて耕作放棄地の増加をもたらし、更なる被害を招く悪循環を生じている。早急かつ積極的に捕獲活動をするために、1頭あたりの捕獲額を多少増額するお考えはあるのか伺いたい。

捕獲体制は整備されているが、サルを撃つ方が限られている中で、捕獲活動が進まないのが現状である。新たな取り組みが必要だと思っている。早急に駆除班を設置して、効果的な捕獲体制の整備が必要だと思う。

が、いかがお考えか伺いたい。

答 太田市長

鳥獣被害というのは深刻なもので、ご指摘のとおり営農意欲、もう田んぼや畑をやめたいという事に繋がってくる。非常に危機的な状況である。色々な対策が必要だと思っている。猟友会の方に頑張っていた

くために、ご指摘のあったことも十分参考にさせてもらう。岡山県とも十分協議しながら有効な対策をとっていききたい。真庭市の取り組みとして、まだまだ現状に合わせて弱い部分があるという話も出ている。そういう意味で、提案いただいたようなサルの特別駆除班的なものを実際に考えられるのか、猟友会の皆さんの

協力がないと前に進めないで、そこを検討・協議させていただきたい。サルに関しては、県のほうの保護管理計画もまだないような状況だ。市長会を通じて県に要望している状況の中で、適正管理ということも出てくる。これから、協議会の機能を見直して、効果的な対応がとれる策を検討していきたいと思っている。



捕獲されたサル

請願・陳情の受付

3月定例会 = 1月末日
6月定例会 = 5月末日
9月定例会 = 8月末日
12月定例会 = 11月末日

請願・陳情1件につき、要望内容は1件でお願いします。複数の要望事項がある場合は、それぞれについて陳情・請願を提出してください。

※土日祝祭日等の閉庁日は除きます。
※請願・陳情の様式等についての問い合わせは議会事務局（電話：0867-42-1272）までお願いします。

古南源一 議員

市の将来は市長が握っている 具体的にどうなる

問

市の将来は市長が握っている。具体的に何を推進しようとしているのか見えないが、市街地よりまず率先して周辺地域住民の不安解消を求めたい。

答 太田市長

今のような現状で自分のところはどのようなのかという不安を感じているのは当然。正直言って、特効薬はないが、私を含め行政職員が地域に積極的に関っていく姿勢を示すことが大変重要である。しかし、人的な限界もあり、市内の協力、地域協力隊等の外部の協力も積極的に導入し

ていく必要がある。地域の減少、高齢化等に対し、地域全体の支え合い、見守りの仕組みが必要。長期的に地域を維持するには、仕事、産業が必要だ。工夫して取り組み、1次産業の活性化

から6次産業化、営農組織拡充、コミュニティビジネスの展開も考えられる。そう考えると非常に大きな可能性がある。その様な取り組みを強力に支援し、また推進していきたい。大学



市民活動支援プラザ（久世地域）

河川の浚渫について

問

生もどんどん入っていきけるような状況をつくって、今の市民プラザとも話をし、NPOがもつと活発になっていき、厳しい地域について市民レベルの支援を進めていくことが大事。

7月の蒜山地域を中心に多くの被害が出た災害現場をみた。長年の土砂の堆積が一因と思われる。河床が年々上がると、少しの増水でも河岸を乗り越える。市内各地で河川の浚渫を希望しているところが多くあり、住民が自衛策に土のうを積んでいるところもある。もう少し早く浚渫作業をしてほしい。

答 太田市長

岡山県は24年度市内12カ所、約1万㎡の浚渫している。河川管理は県にあるからというだけでなく、住民にとって安全な川になるように頑張っていきたい。

草地秀育 議員

真庭の学力を日本一に

問

教育について伺う。市長は今後どのように教育の充実と進められるか。次に教育長は、今後どうしていくべきと考えるか。

答 太田市長

岡山県全体、また真庭市の学力の低さが長期にわたっている。真庭の学力が、県内においても低いことが明らかになっている。真庭の学力を日本一にすれば真庭は変わるし、岡山県も変わる。その気概を持つて関係者一同の奮起を促す。できることは何でもやる。

答 沼教育長

全国学力テスト、県の学力テスト、この実態からして成果が上がっていないと真摯に受け止めている。子どもたちが楽しく学校に通って県平均、全国平均よりも、

▶久世保健福祉会館2階にあるひだまりサロンのポスター



学力的にも心身ともに強い子どもに育てていきたい。これから協議をし、明確な目標を設定していきたい。土曜日授業については、市長の強い思いもあり、早急に結論を出していきたい。

孤立無業者対策について

20歳から50歳の男女のうち社会と接点がない人を孤立無業者という。その数が平成23年の時点で162万人に上る。訪問支援など政府や自治体による対策が急務だ。彼らと社会の絆を結びなおす取り組みをどのように考えていけばよいか。

答 太田市長

何らかの理由で社会参加のできない人が気軽に集まれる場所として、ひだまりサロンを久世会場に、今年度から蒜山会場を加えて2か所で開催している。利用者は、そこで他の人と交わる時間を過ごしている。10月からつやま地域若者サポートステーションを久世の保健福祉会館で月1回開催されることになっている。市としても他の先進的な市町村の事例を勉強し、県と連携しながら進めていきたい。現代社会において非常に悩ましい問題だが、新たな課題として対応していきたい。



佐引中・溝刈地区（落合地域）飲用水供給施設

上下水道事業は内容を精査し今後の方針を検討する

問

合併以来、水道関係事業は全市内くまなく整備するよう、最大限努力し、一般財源も投入してきた。しかし財政が逼迫する状況の今後はどうするのか。

河部辰夫 議員

答 太田市長

基本姿勢として、整備水準をさらに上げる必要がある。色々な問題もあり、そう簡単にはいかないが、経営の合理化をとことん図る。下水道の接続率アップは個々の問題もあるが、戸別訪問で接続の向上に努める。

各種の委員会等を精査して整理する

問



効率性、能率化、スピード化が叫ばれている展開の早い世の中で、役所ほど無駄に時間を浪費している所はない。その最たるものが、やたらと多い委員会だ。改善すべきである。

答 太田市長

各種委員会等の整理、統合、簡素化に向けて精力的に検討していきたい。本年度末までに、全体の結論を出していきたいと思っている。

地域づくりや各種の補助事業の在り方について

問

合併後の複雑な事情から、この分野における整備が遅れている。統合や廃止すべきものが多々ある。しっかりと検証して無駄な出費を抑えるべきである。

答 太田市長

公益性を考慮した上で補助金の検証をこれから先、今まで以上に進めていく。今その見直しに着手している。

真庭の観光について

問

観光はこれからも地域振興にとって大きな柱である。トップの市長から全市民に向けて観光地のPRをするべきである。

答 太田市長

真庭市民が、それぞれの地域を理解し、一体感を持つ意味からも市内観光を積極的にして頂くよう、いろんな手段をとり、訴えていきたい。

中尾哲雄 議員

河川環境の保全と整備について

問

当市久世中島地区にある下水処理施設、久世浄化センターみずすましの下流域にある落合地区、美咲町では、平成15年の当該施設の供用開始以後、アユ、オイカワが全く取れなくなった。以来今日までこの状態は継続しており、憂慮すべき深刻な事態である。原因は、下水処理施設の放流水を殺菌するための塩素が河川生物に悪影響を及ぼし、内水面において漁業が成り立たない状況に至っているものである。水質悪化の最大の原因は、下水処理の方法にある。下水処理後の放流水を殺菌しているが、必要以上に大量の塩素を投入するため、河川で生息する植物プランクトンを死滅させ、そのために動物プランクトンを減少、死滅させることとなり、さらにその結果、魚類が減少、死滅するという



久世浄化センターみずすまし

生態系の悪循環が発生している。市の担当課の説明によると残留塩素の予測値は、夜間で0.0000071mg/Lとしているが、実際の測定値は0.05～0.07mg/Lの地点があり、市の説明とは実に千倍以上の大きな開きがある。河川環境を守るためにも、下水処理施設の放流水について、塩素殺菌にかかわる方法に改めることを研究していると聞く。いつ頃どのような方法に改めるのか、説明していただきたい。

浄化センター内にある池で魚を飼う申し入れをしているが、いつ実施されるのか、お聞かせいただきたい。

答 太田市長

旭川中央漁協より2月20日申し入れを受け、水質検査、残留塩素測定を実施した。検査機関にも委託して、もう一度上下流含めて広範な、そして精緻な調査を行い、総合的な分析をしてみたい。

また、希釈されてその水でどうかという議論をすべきであって放流水自体で魚を飼う必要はない。

議会広報編集
特別委員会

委員長	氏平篤正
副委員長	原秀樹
委員	入澤廣成
委員	緒形尚
委員	草地秀育
委員	福島一則



▶新築された蒜山中学校

議会の動き

- 7/2 (火) 文教厚生常任委員会 津山・富線共同バス運行対策協議会総会 国道313号整備促進期成会総会
 4 (木) 真庭保健所管内栄養改善協議会総会
 5 (金) 文教厚生常任委員会 広報編集特別委員会 国道429号道路整備促進期成会総会
 10 (水) 全国市議会議長会フォーラム
 11 (木) 全国市議会議長会フォーラム
 12 (金) 広報編集特別委員会 岡山自動車道利用促進協議会4車線化要望 国道313号整備促進期成会要望
 16 (火) 文教厚生常任委員会
 18 (木) 新見勝山線・備北新線整備促進期成会合同総会
 19 (金) 男女共同参画講演会
 22 (月) 原水爆禁止平和行進自治体訪問 美作国建国1300年記念事業実行委員会総会
 23 (火) 旭川ダム沿線バス運行対策協議会総会 倉吉市議会交流事業
 24 (水) 落合建部線他県道改良促進期成会合同総会
 26 (金) 岡山県中部環境施設組合議会 愛知県岩倉市議会視察 真庭市温泉協議会
 27 (土) 美甘夏まつり
 28 (日) 美作国建国1300年記念事業シンポジウム 真庭市消防団久世方面隊放水訓練大会
 29 (月) 岡山県議会議長会総会 長岡京市議会視察
 30 (火) 国道429号道路整備促進期成会要望
 31 (水) 新見勝山線・備北新線等期成会合同要望

- 8/1 (木) 総務委員会視察研修
 2 (金) 総務委員会視察研修 鳥取県若桜町議会視察
 4 (日) 久世児童球技大会
 5 (月) 産業建設常任委員会
 6 (火) 兵庫県宍粟市議会視察
 7 (水) 森林を考える岡山県民の集い実行委員会
 8 (木) 議会運営委員会視察研修 湯原温泉「はんざき祭り」ゲートボール大会
 9 (金) 総務常任委員会
 14 (水) 県北高校OB野球祭り 久世夏祭り2013リバーサイドフェスティバル
 16 (金) 文教厚生常任委員会 県北森林・林業活性化懇談会
 19 (月) 総務常任委員会 産業建設常任委員会
 20 (火) 岡山県市議会議員研修会
 21 (水) 高知県香美市議会視察 栃木県佐野市議会視察 新見勝山線・備北新線等期成会合同要望
 22 (木) 国保運営協議会
 23 (金) 委員会報告会 議会運営委員会 島根県安来市議会視察
 28 (水) 議会運営委員会

祝
2020
東京オリンピック
パラリンピック
開催決定

- 9/2 (月) 本会議(開会) 議会運営委員会
 4 (水) 本会議(一般質問)
 5 (木) 本会議(一般質問) 広報編集特別委員会
 6 (金) 本会議(一般質問) 議会運営委員会
 7 (土) 久世地域敬老会
 9 (月) 本会議(議案質疑・委員会付託) 蒜山中学校完成見学会
 10 (火) 総務常任委員会 文教厚生常任委員会 産業建設常任委員会
 11 (水) 産業建設常任委員会
 12 (木) 決算審査特別委員会
 13 (金) 決算審査特別委員会
 14 (土) 北房地域敬老会
 16 (月・祝) 勝山地域敬老会
 17 (火) 予算審査特別委員会
 19 (木) 議会運営委員会 真庭地域畜産共進会
 20 (金) 蒜山中学校落成式
 21 (土) 湯原地域敬老会
 22 (日) 美甘地域敬老会
 24 (火) 本会議(閉会)
 26 (木) 全国水源の里シンポジウム
 27 (金) 全国水源の里シンポジウム
 28 (土) 落合地域敬老会
 29 (日) 真庭市軟式野球選手権大会 海の市・山の市真庭2013
 30 (月) 森林を考える岡山県民のつどい実行委員会

議会報告と意見交換

議会が動きます。今年4月、真庭市議会基本条例が施行されました。これは市民のみなさんとの約束です。どんな約束でしょうか。

市民にすべてを公開しよう。市民の意見をよく聞いて、活動に生かそう。結果については、責任をもって説明しよう。もっと政策提案できる議会になろう。そのためにたゆまずに改革を進めよう。

これは、約束であるとともに私たちの決意です。私たち議会が、地域に出かけます。議会の役割は何か。市民との約束とは何か。議会でどんな議論をしたのか報告させてください。

なにより、これから議会はどうあるべきか。何が足りないのか。どう変わるべきか。みなさんの自由な意見を聞かせてください。ご来場をお待ちしています。

議会地域報告会プロジェクト リーダー 岡崎 陽輔(文)

同 サブリーダー 宮田 精一

1 議会からの報告

- (1) 議会の権能と役割及び、議会要覧の要点説明
- (2) 議会基本条例・政治倫理条例についての要点説明
- (3) 定例議会の議案論戦の要点説明

2 報告に対する質疑、意見交換

市議会 動く！初の地域報告会を開催



1 班

■日時	11月6日(水)
■場所	川上コミュニティセンター
■日時	11月7日(木)
■場所	湯原ふれあいセンター大ホール
■日時	11月11日(月)
■場所	久世エスパスセンター 会議室・研修室
■出席議員	班長 池田文治 副班長 中尾哲雄 草地秀育 妹尾智之 築澤敏夫 長尾 修 中元唯資 宮田精一

2 班

■日時	11月6日(水)
■場所	美甘支局2階多目的ホール
■日時	11月7日(木)
■場所	白梅総合体育館1階会議室
■日時	11月11日(月)
■場所	萩山振興局 大会議室
■出席議員	班長 森田一文 副班長 妹尾 昇 入澤廣成 岡崎陽輔 緒形 尚 古南源二 原 秀樹 福井莊助

3 班

■日時	11月6日(水)
■場所	北房文化センター2階研修室
■日時	11月7日(木)
■場所	中和保健センターあじさいホール
■日時	11月11日(月)
■場所	勝山木材ふれあい会館 2階 研修室
■出席議員	班長 河部辰夫 副班長 初本 勝 岩本壮八 氏平篤正 小田康文 柿本健治 竹原茂三 福島一則



真庭市議会だより 第34号

平成25年11月1日発行
発行 真庭市久世2927-2

真庭市議会

URL <https://www.city.maniwa.lg.jp/> (真庭市ホームページ)
Eメール gikai@city.maniwa.lg.jp